

大庭 通嘉 議員

国本地区のまちづくりは

Q 問 国本地区に大型商業施設の進出提案がされて3年余経過する。市は、今後どのように進めていく考えか。

A 答 にぎわい新都心まちづくり事業と位置づけ、都市基盤整備の計画策定を進めている。計画に対する地権者の意向を調整し、その後、プロポーザル方式で事業者を決定して、農用地除外を進める。

新JR袋井駅舎整備は

Q 問 合併時の約束事業としてのJR駅舎整備や駅南周辺整備をどのように進めるか。

A 答 駅舎整備は、JRとの費用負担の合意ができ次第、詳細設計、建築工事を進める。

駅南口の基盤整備は、駅舎の供用開始に向けて引き続き用地取得に努める。

保育所整備は

Q 問 待機児童が50人余とふえ続ける本市の保育需要にどのように対応するか。

A 答 保育所の需要は益々増大すると考える。来年度、袋井市幼児教育等施設整備計画を策定し、認可保育所の整備を早急に進める。



南側から見たJR袋井駅

久野 松義 議員

地方再生対策費で 税収格差を埋めるべきでは

Q 問 この対策費により普通地方交付税がいくらくらいふえるのか。

A 答 地方交付税の基準財政需要額にこの対策費が加わり、20年度の普通交付税は5,500万円増になると見込んでいる。

高照度照明灯で夜道を明るく

Q 問 改善改良された照明灯に切り替え、夜道を明るくしていただきたい。

A 答 自治会設置の防犯灯は、市への補助金申請時に改良製品をPRしていきたい。市設置の道路照明灯は、更新する際、発光効率の高い180ワット高圧ナトリウム灯にしている。

農村環境は農地保全から

Q 問 農地・水・環境保全向上対策事業に依存して、市単独の農業土木費を減額される心配はないか。

A 答 農業土木費は、農地・水・環境保全向上対策事業の実施地域と未実施地域との格差を生じさせないため、また、地元要望が多いため、修繕費等を増額した。



夜道を照らす防犯灯